

# 三世代文化祭

## 11月3日～5日

芸術の秋というには暖かすぎる今年の文化の日から3日間(11月3日～5日)日高交流センターを会場に、日高文化協会主催の三世代文化祭が開催され、今年も多くの方々が来場されました。

今年も昨年同様、体育館の舞台での演芸披露は行われず、1階和室で民話の会によるお話し、活動開始して間もない琴の会の演奏を行うのみとなりました。

展示コーナーとなった2階の会議室ではこれまでも作品展示を行ってきた、かな書道や生け花、地元小中学校の生徒による書道や絵画のほかに、今年度から新たに幼稚園や認定こども園の園児たちによる作品も展示され明るくかわいらしい雰囲気満たされていま



展示品を鑑賞する地元の方々



今年から加わった切り絵の展示



流麗な筆使いのかな書道



地域の民話を楽しむ皆さん

隔月でお届けしている市民自治会広報紙「日高」、  
「より興味を持って読んで欲しい」私たち編集担当者の願いです。  
そのためには「更なる内容の充実した紙面づくり」に努めなければなりません。  
そこで、10月13日、茨城新聞本社地域連携室NIE事務局の澤畑和宏さんを講師に研修会を開催し、担当者11名が参加しました。  
講師には、事前に今年度

## 魅せる広報紙づくり プロのアドバイスを受ける

発行した「日高」を送付しておきましたので、当日はそれらをもとに具体的に2時間のアドバイスを受けてました。  
主に4つのポイントがありました。①見出しの付け方はどうか ②記事内容に強弱があるか ③読者の目線に沿ったレイアウトになっているか ④文は簡潔に書かれているかです。  
講話の合間に演習や質疑もあり、なるほどとうなず



子供たちのかわいい作品が会場を明るくしてくれます



自らの作品の横に立つ作者



今年も力作ぞろいの鎌倉彫

文化祭を主催した日高文化協会の小澤代表にお話を伺うと、「コロナ禍で中止となった2年間に多くのサークルが活動を止めた影響が大きく、夏に、色鉛筆での絵画や切り絵などの体験教室を開催し、個人からの出品募集するなど、出品作品を増やす試みをしてきました」とのことでした。  
皆さんも心を豊かにする芸術活動に親しんでみませんか。

## エレベーター設置 工事始まる 交流センター

令和5年度日高市の事業として日高交流センターのエレベーター設置が認可となり、11月初めから本格的な工事が開始されました。エレベーターは交流センター北側入口に設置され、駐車場から2階に直接昇れるようになります。いままではように表玄関から階段でも2階に行けます。  
工事期間は、11月から来年3月末までの予定で、その間交流センターの出入りや駐車場の使用には制限等がありますので施設側からの情報を確認してください。

側駐車場を使用。  
・交流センターや体育館利用者は南側広場駐車場を使用。

## 会長受賞でまた一つ勲章 日高のラジオ体操

平成18年から毎日欠かさず続けている市民自治会のラジオ体操に、また一つ勲章が加わりました。  
これまで日高のラジオ体操は、平成20年に市、23年には県の元気アップ賞で優秀賞に輝き、一昨年から日高市で始めたラジオ体操コンクールでも、日高のグループが2大会続けて上位入賞を果たしました。

きながら聞き入りました。今まで、何となく経験で作ってきた広報紙でしたが今後の方向性が明確になった気がします。  
果して、今日配付した第215号は如何でしょう。



ここを こう直せば・・・



毎日欠かさずイチ・ニ・サン♪